



## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月6日

上場会社名 古河機械金属株式会社  
 コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 宮川 尚久  
 (氏名) 三影 晃  
 TEL 03-3212-7021

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	44,370	15.1	2,466	44.4	2,695	33.0	1,906	178.7
2018年3月期第1四半期	38,545	6.4	1,707	1.0	2,026	68.7	684	13.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 241百万円 ( %) 2018年3月期第1四半期 1,327百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	47.18	
2018年3月期第1四半期	16.93	

2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	227,801	84,803	36.3
2018年3月期	222,211	87,086	38.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 82,717百万円 2018年3月期 85,011百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		50.00	50.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	87,000	8.6	3,700	6.2	3,500	26.3	2,300	7.5	56.93
通期	169,000	0.8	7,000	10.5	6,100	24.7	4,000	16.2	99.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	40,445,568 株	2018年3月期	40,445,568 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	42,069 株	2018年3月期	41,964 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	40,403,509 株	2018年3月期1Q	40,404,181 株

2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
2019年3月期 第1四半期決算短信 補足資料 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日～同年6月30日)の我が国経済は、堅調な生産活動に加え、人手不足に伴う省力化・効率化に向けた旺盛な設備投資意欲や海外経済の回復基調を背景に、緩やかな回復が続きました。一方で、経済の先行きについては、米国の金融正常化および政権運営の動向、貿易摩擦の激化などにより、不透明感が高まる状況となりました。

このような経済環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、443億70百万円(対前年同期比58億24百万円増)、営業利益は、24億66百万円(対前年同期比7億58百万円増)となりました。これは、主として、産業機械、ロックドリル、金属、電子部門で増収、増益となったことによります。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

産業機械部門の売上高は、33億33百万円(対前年同期比6億31百万円増)、営業利益は、29百万円(前年同期は1億4百万円の損失)となりました。大型プロジェクト案件で、東京外環自動車道工事向けベルトコンベヤは減収となりましたが、出来高に対応した売上高を計上した横浜環状北西線工事など橋梁で増収となりました。

ロックドリル部門の売上高は、77億35百万円(対前年同期比4億39百万円増)、営業利益は、5億60百万円(対前年同期比2億10百万円増)となりました。国内向けは、油圧圧砕機や北海道整備新幹線向けなどトンネルドリルジャンボの出荷が増加し、増収となりました。海外向けは、主として、北米市場において需要の落込みが予想された排ガス3次規制油圧クローラドリルが引き続き好調であったことに加え、油圧ブレーカの出荷も増加したことにより、増収となりました。

ユニック部門の売上高は、69億37百万円(対前年同期比1億15百万円増)、営業利益は、6億92百万円(対前年同期比8百万円減)となりました。国内向けは、トラック排ガス規制対応前の駆け込み需要があった前年同期に比して、主力製品であるユニッククレーンの出荷が減少し、減収となりました。海外向けは、主として、欧米向けミニ・クローラクレーンの好調な出荷と、中国におけるユニッククレーンの出荷の増加により、増収となりました。

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、180億6百万円(対前年同期比11億86百万円増)、営業利益は、12億82百万円(対前年同期比3億35百万円増)となりました。

金属部門の売上高は、220億41百万円(対前年同期比44億34百万円増)、営業利益は、5億55百万円(対前年同期比2億86百万円増)となりました。電気銅の売上高は、海外相場の上昇により増収となり、電気金は、生産数量の増加に伴い、増収となりました。

電子部門の売上高は、16億32百万円(対前年同期比1億92百万円増)、営業利益は、1億31百万円(対前年同期比70百万円増)となりました。主力の高純度金属ヒ素の販売数量は微増で、前期並みの売上高となりましたが、結晶製品は、個別半導体用などが好調で、販売数量が増加し、増収となりました。

化成品部門の売上高は、16億16百万円(対前年同期比1百万円減)、営業利益は、1億41百万円(対前年同期比17百万円増)となりました。亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要が、前年同期のバラスト水規制前の前倒し需要の反動などにより減少し、減収となりましたが、めっき用酸化銅は、銅価格の上昇および販売数量の増加により、増収となりました。

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、252億90百万円(対前年同期比46億26百万円増)、営業利益は、8億28百万円(対前年同期比3億74百万円増)となりました。

不動産事業の売上高は、8億62百万円(対前年同期比33百万円増)、営業利益は、4億1百万円(対前年同期比40百万円増)となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は、26億95百万円(対前年同期比6億68百万円増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、19億6百万円(対前年同期比12億22百万円増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,278億1百万円で前連結会計年度末に比べ55億90百万円増加しました。これは主として、現金及び預金の増加によるものです。有利子負債（借入金）は、799億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億85百万円増加しました。純資産は、848億3百万円で、前連結会計年度末に比べ22億83百万円減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回（2018年5月10日）発表時点の想定との比較において、第2四半期連結累計期間の営業利益は、ロックドリル部門では、主として、北米市場において需要の落ち込みが予想された排ガス3次規制油圧クローラドリルが引き続き好調であったことに加え、油圧ブレーカの出荷も増加し、増益となる見込みです。ユニック部門では、主として、中国におけるユニッククレーンの出荷が増加し、増益となる見込みです。その結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、上方修正しています。

また、通期の業績につきましては、産業機械部門では、主として、大型プロジェクト案件の工事遅延により減収となる見込みですが、ロックドリル部門およびユニック部門では、第2四半期連結累計期間における修正を主因として増収、増益となる見込みです。その結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、それぞれ上方修正しています。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,201	18,395
受取手形及び売掛金	31,321	28,560
商品及び製品	15,575	15,342
仕掛品	8,027	8,690
原材料及び貯蔵品	17,569	13,898
その他	5,282	9,361
貸倒引当金	△131	△128
流動資産合計	87,845	94,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,431	23,378
土地	54,902	54,890
その他(純額)	11,631	11,695
有形固定資産合計	88,965	89,963
無形固定資産	227	218
投資その他の資産		
投資有価証券	39,959	38,528
その他	5,785	5,559
貸倒引当金	△572	△588
投資その他の資産合計	45,172	43,499
固定資産合計	134,366	133,681
資産合計	222,211	227,801

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,072	13,634
電子記録債務	10,644	11,043
短期借入金	35,953	39,707
未払法人税等	599	258
引当金	388	387
その他	18,663	19,848
流動負債合計	79,322	84,881
固定負債		
長期借入金	37,358	40,289
引当金	1,114	1,113
退職給付に係る負債	4,675	4,487
資産除去債務	219	220
その他	12,433	12,006
固定負債合計	55,802	58,117
負債合計	135,124	142,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	38,573	38,459
自己株式	△67	△67
株主資本合計	66,714	66,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,517	13,303
繰延ヘッジ損益	45	△189
土地再評価差額金	3,465	3,465
為替換算調整勘定	182	△536
退職給付に係る調整累計額	86	75
その他の包括利益累計額合計	18,297	16,117
非支配株主持分	2,074	2,086
純資産合計	87,086	84,803
負債純資産合計	222,211	227,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	38,545	44,370
売上原価	32,641	37,606
売上総利益	5,904	6,763
販売費及び一般管理費	4,197	4,297
営業利益	1,707	2,466
営業外収益		
受取配当金	315	377
その他	358	242
営業外収益合計	673	620
営業外費用		
支払利息	158	129
休鉱山管理費	134	160
その他	60	100
営業外費用合計	353	390
経常利益	2,026	2,695
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除売却損	15	6
テナント退去補償関連費用	1,041	—
その他	14	—
特別損失合計	1,071	6
税金等調整前四半期純利益	963	2,690
法人税、住民税及び事業税	346	371
法人税等調整額	△107	368
法人税等合計	239	740
四半期純利益	724	1,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	684	1,906

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	724	1,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	872	△1,214
繰延ヘッジ損益	△31	△267
為替換算調整勘定	△237	△521
退職給付に係る調整額	76	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	△76	△175
その他の包括利益合計	603	△2,190
四半期包括利益	1,327	△241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,294	△274
非支配株主に係る四半期包括利益	33	33

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	2,702	7,295	6,821	17,607	1,439	1,617
セグメント間の 内部売上高又は振替高	722	21	28	57	0	13
計	3,425	7,316	6,850	17,664	1,439	1,631
セグメント利益又は損失 (△)	△104	350	700	269	61	123

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	829	38,314	231	38,545	—	38,545
セグメント間の 内部売上高又は振替高	32	875	371	1,247	△1,247	—
計	862	39,190	602	39,793	△1,247	38,545
セグメント利益又は損失 (△)	361	1,762	△36	1,726	△19	1,707

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△19百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	3,333	7,735	6,937	22,041	1,632	1,616
セグメント間の 内部売上高又は振替高	742	—	35	60	0	13
計	4,076	7,735	6,973	22,102	1,633	1,629
セグメント利益又は損失 (△)	29	560	692	555	131	141

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	862	44,160	209	44,370	—	44,370
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	857	404	1,261	△1,261	—
計	867	45,017	614	45,632	△1,261	44,370
セグメント利益又は損失 (△)	401	2,512	△26	2,486	△20	2,466

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△20百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△27百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前提

			対前年同期増減	
銅価	第1四半期決算	\$/mt	6,872	1,209
	2018年7月以降	\$/mt	6,500	495
	年度予想	\$/mt	6,593	149
為替	第1四半期決算	円/\$	109.1	2.0
	2018年7月以降	円/\$	105.0	6.1
	年度予想	円/\$	106.0	4.8

## 2019年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2018年8月6日  
古河機械金属株式会社

## 〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨て)

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	16,819	18,006	1,186
産業機械部門	2,702	3,333	631
ロックドリル部門	7,295	7,735	439
ユニック部門	6,821	6,937	115
素材事業	20,664	25,290	4,626
金属部門	17,607	22,041	4,434
電子部門	1,439	1,632	192
化成品部門	1,617	1,616	1
不動産事業	829	862	33
その他	231	209	21
〔合計〕	38,545	44,370	5,824

2019年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
37,400	2,184	77,000	3,546
7,300	1,624	17,600	1,728
15,900	215	30,400	200
14,200	344	29,000	1,618
47,500	4,724	88,100	1,887
41,200	4,578	75,700	1,634
3,200	217	6,300	7
3,100	71	6,100	244
1,600	58	2,800	538
500	47	1,100	183
87,000	6,897	169,000	1,304

## 〔営業利益〕

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	対前年同期増減
機械事業	946	1,282	335
産業機械部門	104	29	133
ロックドリル部門	350	560	210
ユニック部門	700	692	8
素材事業	454	828	374
金属部門	269	555	286
電子部門	61	131	70
化成品部門	123	141	17
不動産事業	361	401	40
その他	36	26	10
(計)	1,726	2,486	760
調整額	19	20	1
〔合計〕	1,707	2,466	758

2019年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
2,300	172	5,000	83
150	267	1,000	5
850	73	1,300	482
1,300	21	2,700	404
850	369	1,150	498
400	512	400	467
200	133	350	19
250	10	400	51
650	58	1,000	339
90	12	100	96
3,710	266	7,050	825
10	23	50	5
3,700	243	7,000	820